

# 高大連携による商品開発実践がもたらす 高校・大学生の環境意識の醸成と「場」の創造に関する研究

**Research on fostering environmental awareness and creation of "ba" in high school and university students brought about by product development practice through high school-university collaboration**

傍嶋則之・河合優太・西川哲平・西塚奨眞・  
符波柊斗・松田大輝・安田恭太郎・大津翔夢・大西憧・山本大樹

**SOBAJIMA Noriyuki, KAWAI Yuuta, NISHIKAWA Teppei, NISHIZUKA Shoma,  
FUNAMI Syuuto, MATSUDA Daiki, YASUDA Kyoutarou, OTSU Shouma,  
ONISHI Syou and YAMAMOTO Taiki**

名古屋産業大学現代ビジネス学部 Nagoya Sangyo University, Faculty of Current Business

**Abstract** : In Aichi Prefecture, various environmental learning projects are being carried out with the aim of "developing people who can take action" to support a sustainable society. Under such circumstances, a school that is working on advanced environmental education, developing products using "traditional vegetables of Aichi" and "crickets" through classes and club activities, and focusing on fair trade products and working on enlightenment activities. In collaboration with high school and university, we will consider the creation of environmental awareness and the creation of places.

**Keywords**: Environmental education, local production for local consumption, traditional vegetables, environmental awareness, eating insects, behavioral change, high school/university students

## 1. はじめに

愛知県では、平成30年3月に策定した「愛知県環境学習等行動計画2030」に基づき、「持続可能な社会を支える『行動する人づくり』」を目的に、各種の環境学習事業を実施している。(愛知県環境局環境政策部環境活動推進課ホームページ 2023)

一方、「愛知県環境学習等行動計画」の作成・実施のため、県民、事業者、NPO、学校関係者、学識経験者、行政等により構成される「愛知県環境教育等推進協議会」を平成24年7月に設置し、環境保全活動、環境保全の意識の増進及び環境教育並びに協働取組を推進しており、愛知県立南陽高等学校 Nanyo Company 部&総合探究系列は、エシカルリレーすごろく・めざせ！フェアトレード王すごろく(ボードゲーム)を一例とする「あいちの未来クリエイト部」の高校生が作成した環境学習教材を貸し出している。

2017年度から高校生が主体となり作成している環境学習教材は毎年3~5事例程度にあり、環境学習の端を

した程度にとどまっているがその精度は大変優れたものになっている。

## 2. 研究の概要

### 2.1 研究の目的

本研究では、前述の愛知県立南陽高等学校を含む、愛知県内商業・総合学科高校で、部活動並びに3年生の課題研究で「商品開発・地域連携」に取り組むことが必須となっており、商品開発の実践を通して、高校生・大学生の意識や行動に、環境教育がどのような影響を及ぼし、そのことがどう地域との「場」づくりに繋がるのかについて調査・分析をおこなうことを目的とする。

### 2.2 調査対象

ワークショップ及び商品開発参加者は、名古屋産業大学現代ビジネス学部3年生9名(専門ゼミナールⅠ・Ⅱ傍嶋ゼミ)であり、高校生は①愛知県立古知野高校16名、

②愛知県立南陽高等学校 Nanyo Company 部 7 名、③愛知県立半田商業高校 3 名、④愛知県名古屋市長若宮商業高校商品開発研究会 22 名、⑤愛知県私立聖カピタニオ女子高等学校 7 名の 5 か所である。

### 2.3.1 調査方法（江南市：古知野高校）

本研究の実践及び調査のスケジュールは下記のとおりである。

表 1 ①古知野高校 調査のスケジュール

日付	内容
2022年4月	商品開発テーマ設定(SDGS)
5月	卵の殻キャンドル・バスボム試作
6月	イベント確認・シミュレーション
7月	SDGS EXPO 実践・アンケート調査
10月	自然薯廃棄商品を使った商品開発
11月	栽培農家・商品製作洋菓子店訪問
12月	洋菓子事業社打合せ
2023年1月	江南市民文化会館販売実践・アンケート調査(自然薯フィナンシェ)

出典：大西懂・安田恭太郎作成

4 月当初より古知野高校観光コース地域連携講座に訪問して、今年度の地域連携テーマを「SDGS・食品ロス削減」に設定した。そして、もう一つの連携機関である市民活動団体 Little good 谷口氏と協議し、7 月 31 日(日)すいとびあ江南で実施される SDGS EXPO に出展して、アンケート調査を行うこととした。

5 月から 6 月にかけて古知野高校実習室で卵の殻キャンドルとバスボム制作に取り掛かり、卵の殻は市内の洋菓子・パン製造業者を訪問して卵の殻を収集し、キャンドルについては、ご家庭の不用品・使用済みロウソクを集めるよう校内で呼び掛け、バスボムでは、重曹の手配と市内でハーブ栽培を行うご家庭のご協力を募った。

写真 1 SDGS EXPO 会場でバスボム制作



SDGS EXPO では、早朝より家族連れのお客様で会場は混雑して、高校生は熱心に卵の殻キャンドルの卵の殻の絵付け、バスボム制作実演をお子様へ展開し、保護者への SDGS 啓もうを力説した。なお、大学生は、市場調査を当日担当して初めてのアンケート調査に悪戦苦闘していた。

また、10 月からは、商工会議所からご紹介いただいた地元自然薯農家さんの協力を得て、自然薯規格外廃棄商品の有効活用を授業で検討して数多くの商品設計図を作成、その中からさつまいもと自然薯を上手く配合した「自然薯フィナンシェ」に決定した。洋菓子事業社には、Galle de watanabe 渡部氏のご協力を頂き、江南市民文化会館にて「犬山線 friends」で販売・アンケート調査を実施しました。

写真 2 「自然薯フィナンシェ」



▲薩摩芋と自然薯の絶妙なバランス

### 2.3.2 調査方法（名古屋市港区：南陽高校）

同様に実践及び調査のスケジュールは下記のとおり。

表2 ②南陽高校 調査のスケジュール

日付	内容
2022年6月	JA なごや港区支店とスイーツコーン規格外廃棄商品の活用検討
7月	JA なごや港区支店との協力による原材料調達・開発工場検討
10月	名古屋産業大学学園祭販売実践・アンケート調査
12月	JA なごや港区支店とブロッコリー規格外廃棄商品の活用検討
2023年1月	和菓子事業者の選定・協議
4月	戸田川緑地公園販売実践・アンケート調査

出典：大津翔夢・符波柊斗作成

6月に愛知県立南陽高等学校 Nanyo Company 部に訪問して、総合探究系列エシカルリレーすごろく・めざせ！フェアトレード王すごろく(ボードゲーム)の説明及びコーヒー豆袋を使った商品等 SDGS の取組を確認して、地域との連携が少ないことから、JA なごや本店地域振興部の紹介で、港区のトウモロコシ栽培農家さんをご紹介いただき、規格外廃棄トウモロコシの活用に悩んでおられることから、カップアイスの企画を提案、「スイーツコーンジェラート」に成功した。

写真3 「スイーツコーンジェラート」



10月には、名古屋産業大学学園祭で販売及びアンケート調査を実施してお客様からの好評を得て、引き続き各地のイベントで販売予定である。

また、11月には引き続きJA なごや港区支店からブロッコリー(その他、大根・カリフラワー・里芋等)の規格外廃棄商品の活用依頼を受け、アワーズカフェ名古屋店の協力を得て、野菜を粉末・ドライ加工して頂き、その

内、粉末にした野菜で和菓子を製造し、農業文化園・戸田川緑地「春の物語」にて販売・アンケート調査を実施しました。

### 2.3.3 調査方法(半田市:半田商業高校)

同様に実践及び調査のスケジュールは下記のとおり。

表3 ③半田商業高校 調査のスケジュール

日付	内容
2022年7月	半田商業高校地域連携講座テーマ設定
9月	半田商工会議所との連携によるストリートテラス出店による商品企画・製作 事業社との協議
10月	半田ストリートテラス実践・アンケート調査
2023年2月	半田商業高校との反省会

出典：河合優太・山本大樹作成

当該チームにおいては、2か所の地域のコラボ先から断られ、7月になってから半田商業高校が嘗てからSDGSに取組まれて、2022年3月18日に徳島県で開催された、「エシカル甲子園2021」本選に全国85校の中から選ばれた11校の中で、半田商業高校はテーマ「サーキュラーフード「コオロギ」で考える未来の世界」で参加され、見事に受賞された。そして、校内でコオロギ養殖をしておられることの情報を聞きつけ、地域連携講座に参加する契機になった。

地域連携講座では、大学生と高校生が地域らしさと地域への貢献をテーマに、半田商工会議所からの依頼であった名鉄知多半田駅前賑わい創出の為の「半田ストリートテラス」出展を前提に、地元野菜のカボチャに注目して商品を企画、大学生は高校生の企画に併せて和洋菓子事業社(中川屋)さんと製作・交渉をした。

写真4 「ハロウィンドーナツ・チーズケーキ」





### 2.3.4 調査方法（名古屋市天白区：若宮商業高校）

同様に実践及び調査のスケジュールは下記のとおり。

表4 ④若宮商業高校 調査のスケジュール

日付	内容
2022年6月	若宮商業高校商品開発研究会テーマ設定
7月	「八事五寸人参」洋菓子開発企画
8月	イオンモール熱田開発済商品販売
12月	前年度開発和菓子の区役所マルシェで販売実践・アンケート調査
2023年1月	洋菓子事業社選定・交渉
3月	名古屋城春まつり・トヨタモビリティゲート吹上販売実践・アンケート調査

出典：松田大輝・西川哲平作成

6月15日(水)に若宮商業高校商品開発研究会の部活時間に訪問して、部員に対して過去の取組経緯を聴取し、新入部員には改めて地域連携・地産地消・食品ロスについて、講義を行い、今年度については、愛知県の伝統野菜「八事五寸人参」（希少作物）に注目して洋菓子を製作することで合意した。

写真5 「若宮商業伝統野菜とのコラボ和菓子」



なお、昨年度は愛知県の伝統野菜に拘り栗味かぼちゃを使った「朧若月」、八事五寸人参を使った「若夕季」、天白区産しだれ梅ジャムと鹿児島県産安納芋の「若香芋梅」和菓子を開発された。いずれの商品も3年生ゼミ生は、8月のイオンモール熱田及び12月の天白区役所マルシェで販売実践と市場調査を行った。2023年1月に入ってから、繁忙期の端境期に洋菓子店ラ・パレット近藤氏と打合せ、八事五寸人参「キャロレーヌ」を完成させ、名古屋城春まつり初日の2023年3月21日と25日トヨタモビ

リティゲート吹上店で販売実践及び市場調査アンケートを実施した。

### 2.3.5 調査方法（尾張旭市：聖カピタニオ女子高校）

同様に実践及び調査のスケジュールは下記のとおり。

表5 ⑤聖カピタニオ女子高校 調査のスケジュール

日付	内容
2022年11月	(株)JTB 中部支社の「地域の稼げる看板商品の創出事業」に協力
12月	名古屋経営短期大学未来キャリア学科学生との定例企画会議を立上、作成には聖カピタニオ女子高等学校に協力を仰ぐ
2023年1月	尾張旭観光協会実践・アンケート調査「舞どれ〜ぬ」
2月	聖カピタニオ女子高校との反省会

出典：西塚奨眞作成

11月17日(木)に(株)JTB 中部支社及び糺ツーリストアイチ幹部が来校され、観光庁の補助金事業「地域の稼げる看板商品の創出」への協力要請が有り、急遽、専門ゼミ生と名古屋経営短期大学未来キャリア学科学生7名による企画定例会議を立上、今回の案件では、尾張旭市のいちじく(榊井ドーフィン)と紅茶(ネパールジュンチャバリ農園産)に注目することで合意した。

短期間での試行錯誤の結果、短大生が企画書及び絵コンテを作成、製作先を探すも、洋菓子店は繁忙期に入り市内菓子事業社のご協力を得られず、聖カピタニオ女子高等学校料理部(瀬戸市)が文化祭でマドレーヌを作成販売されておられることから依頼し、生洋菓子については、菓子匠SHIMIZU 清水氏(栄支店)のご協力を得られた。

なお、今回の事業趣旨はポストコロナを見据えたインバウンド観光客への尾張旭市の現状・課題問題点を分析して、インバウンド観光客に地域の稼げる看板商品を食べしてもらうことから1月28日(土)に名古屋市留学生会館のご協力を得て、中国・台湾・韓国の留学生6名に尾張旭市観光協会にて試食実践及びアンケート調査を実施した。

写真6 「留学生による試食・モニターツアー」



### 3. 結果

#### 3.1 アンケート調査結果

本節では、①愛知県立古知野高校 2022 年 7 月 31 日(日) SDGS EXPO・2023 年 1 月 29 日(日)犬山線 friends、②愛知県立南陽高等学校 Nanyo Company 2022 年 10 月 8 日(土)名古屋産業大学学園祭・2023 年 4 月 8 日(土)農業文化園・戸田川緑地春物語り ③愛知県立半田商業高校 2022 年 10 月 29 日(土)半田ストリートテラス、④愛知県名古屋市立若宮商業高校商品開発研究会 2022 年 12 月 10 日(土)天白区役所マルシェ・2023 年 3 月 21 日(火)名古屋城春まつり・3 月 25 日(土)トヨタモビリティゲート吹上支店マルシェ、⑤愛知県私立聖カピタニオ女子高等学校 2023 年 1 月 28 日(土)尾張旭市観光協会インバウンド観光客試食会で実施された市場調査を基に、地域観光・特産資源の確認及び開発商品について、その各々について言及する。

アンケート調査の結果では、① (バスボム・卵の殻キャンドル n=71・自然薯フィナンシェ n=29) 江南市古知野高校地区の結果において、すいとびあ江南 SDGS EXPO に来場された方々は 40 歳代～50 歳代 (34 人 47.9%) 家族構成としてはお子様二人の教育世代 (39 人 54.9%) が多く、藤の花を代表とする曼茶羅寺があり、既存の特産品については、県内食品スーパーでも目にするようになった「越津ネギ」を上げる人が多く見られた (13 人 18.3%)。② (フェアトレード餡どら焼き n=16) 名古屋市港区南陽高校地区の結果においては、農業文化園・戸田川緑地「春物語り」に来場された方々は 60 歳代～70 歳代 (12 人 75.0%)、家族構成としてご夫婦二人家族 (11 人 68.8%) が多く、農業文化園の戸田川緑地に散策・ウォーキングに来られたせいも、港区が産出される農産品に非常に関心が高かった。③ (ハロウィンドーナツ n=72・チーズケーキ n=36)、半田市半田商業高校地区の結果において、名鉄知多半田駅前ストリートテラスに

来場された方々は 30 歳代～40 歳代 (53 人 73.6%)、家族構成としてお子様一人の子育て世代 (23 人 31.9%) が多く、醸造文化が根付いている土地柄らしく、既存の特産品については、お酢を上げる人が見られた (44 人 61.1%)。④ (「朧若月」、「若夕季」、「若香芋梅」 n=29・キャロレーヌ n=23) 名古屋市天白区若宮商業高校地区の結果については、名古屋城春まつり・トヨタモビリティゲート吹上マルシェに来場された方々は、50 歳代 (9 人 39.1%) 家族構成としては二人家族 (8 人 34.8%) が多く、特産品としては、「若夕季」「キャロレーヌ」を意識してか八事五寸人参を上げる人が多く見られた (12 人 52.2%)。⑤ (舞どれーぬ・いちじくカップケーキ n=6) 尾張旭市聖カピタニオ女子高等学校地区の結果については、名古屋在住の留学生で、初めて訪れる尾張旭市としては、栄町からの名鉄電車の車窓風景と駅前看板のイメージからこの街の特徴を「ひまわりの花」(3 人 50%)・「いちじく」・「紅茶」と言う様に捉えられていた。

その様な中で、①古知野高校が提供した「自然薯フィナンシェ」は、単価 120 円と言う事の他、自然薯と薩摩芋の配合バランスが良く、健康を意識する方には好評であった。また、②南陽高校が提供した「スイートコーンジェラート」は、コーン自体の甘さと種皮のほろ苦さが相俟って好評であった。今後開発のドライベジタブル・ブロッコリー外郎売の完成が待たれるところである。更には、③半田商業高校が提供した「ハロウィンドーナツ」は、セット価格で 300 円と言う安価なこともあり、地元産のカボチャとココロギの香ばしさが来場者の好評を得て、若宮商業高校が提供した「朧若月」、「若夕季」、「若香芋梅」、「キャロレーヌ」は、作付面積が希少な「あいちの伝統野菜」を使い、特に八事五寸人参を活用した和菓子「若夕季」や「キャロレーヌ」は人参そのものの色鮮やかさ、果肉をふんだんに使った歯触りの他、八事五寸人参の特徴は、色が濃く、肉質が良く、甘みが強く、味付きが良いことで来場者の評判は高いものであった。

表6 あなたが思う江南市の特産品 (n=29 人)

藤の花	19 人	65.5
地酒	2 人	6.9
越津ねぎ	3 人	10.3
江南野菜カレー	4 人	13.8
その他	1 人	3.4
合計	29 人	100.0

表7 見た目 (形状)・大きさ・値段 (n=29 人)

良い	7 人	24.1
----	-----	------

やや良い	9人	31.0
普通	9人	31.0
合計(形状)	(29人)	100.0
丁度良い	16人	55.2
やや小さい	7人	24.1
合計(大きさ)	(29人)	100.0
普通	13人	44.8
やや安い	5人	17.2
合計(値段)	(29人)	100.0

「自然薯フィナンシェ」江南市

表8 あなたが思う名古屋市港区の特産品 (n=16人)

たまねぎ(甘70)	5人	31.3
スイートコーン	0人	0
お米(陽娘)	6人	37.5
ブロッコリー	5人	31.3
合計	16人	100.0

表9 見た目(形状)・大きさ・値段 (n=16人)

良い	12人	75.0
やや良い	1人	6.3
普通	3人	18.8
合計(形状)	(16人)	100.0
丁度良い	16人	100.0
合計(大きさ)	(16人)	100.0
普通	16人	100.0
合計(値段)	(16人)	100.0

「フェアトレード館どら焼き」名古屋市港区

表10 あなたが思う半田市の特産品 (n=72人)

お酢	44人	61.1
たまり醤油	15人	20.8
地酒	12人	16.7
その他	1人	1.4
合計	72人	100.0

表11 見た目(形状)・大きさ・値段 (n=72人)

良い	53人	73.6
やや良い	11人	15.3
普通	8人	11.1
合計(形状)	(72人)	100.0
丁度良い	66人	91.7
やや小さい	6人	8.3
合計(大きさ)	(72人)	100.0

普通	61人	84.7
やや安い	11人	15.3
合計(値段)	(72人)	100.0

「ハロウィンドーナツ」半田市

表12 あなたが思う天白区の特産品 (n=52人)

八事五寸人参	25人	48.1
栗味南瓜	7人	13.5
しだれ梅	11人	21.2
八事の蝶々	1人	1.9
その他	8人	15.4
合計	52人	100.0

表13 見た目(形状)・大きさ・値段 (n=52人)

良い	21人	40.4
やや良い	13人	25.0
普通	18人	34.6
合計(形状)	(52人)	100.0
やや大きい	6人	11.5
丁度良い	40人	76.9
やや小さい	6人	11.5
合計(大きさ)	(52人)	100.0
高い	3人	5.8
普通	18人	34.6
やや安い	24人	46.2
非常に安い	7人	13.5
合計(値段)	(52人)	100.0

「和菓子3点セット」「キャロレーヌ」天白区

④昨年度開発された栗味かぼちゃを使った「朧若月」、八事五寸人参を使った「若夕季」、天白区産しだれ梅ジャムと鹿児島県産安納芋の「若香芋梅」は、価格も相俟って3点セット(300円)で販売されたこともあり、各会場とも完売、「キャロレーヌ」(n=52)は、八事五寸人参を焼き菓子に用いるために、①シロップで浸透圧による糖と水分の転換 ②製品を冷凍できるように人参に冷凍耐性をつける ③殺菌する等短期間で開発の努力もあり、人参の甘みを最大限に活かした優れたものとなり、好評を博した。

表14 味はどうか (n=23人:キャロレーヌ)

丁度良い甘さ	2人	8.7
また買いたい	1人	4.3
人参の素材の味がある	1人	4.3



好きな味	3人	13.0
美味しかった	16人	69.7
合計	23人	100.0

表 15 あなたが思う尾張旭市の特産品 (n=6人)

ひまわりの花	3人	50.0
いちじく	2人	33.3
紅茶	1人	16.7
プチベール	0人	0
合計	6人	100.0

表 16 見た目(形状)・大きさ・値段 (n=6人)

良い	5人	83.3
やや良い	1人	16.7
合計(形状)	(6人)	100.0
丁度良い	5人	83.3
やや小さい	1人	16.7
合計(大きさ)	(6人)	100.0
普通	3人	50.0
やや安い	3人	50.0
合計(値段)	(6人)	100.0

「舞ドレーヌ」「いちじくカップケーキ」尾張旭市

⑤(「舞どれぬ」・「いちじくカップケーキ」 n=6名)、聖カピタニオ女子高等学校作成のイチジク果肉入りマドレーヌは、尾張旭特産品の紅茶も配合され、カカオのアレンジとピスタチオのトッピングが功を奏し、菓子事業社との比較の中で好評であった。

いちじくは、中国名「映日果」と表記され、万能薬としての効能もあり、今後ともアジアを中心としたインバウンド観光客には、重要な果物としての結果が現れた。

表 17 味はどうですか (n=6人)

クリームは甘過ぎないで食べやすい	1人	16.7
ケーキのクリームが美味しい	1人	16.7
ケーキ常温、マドレーヌは特別な味	1人	16.7
ひまわり連想	1人	16.7
丁度いい甘さ	1人	16.7
味や香りが良かった	1人	16.7
合計	6人	100.0

「舞ドレーヌ」「いちじくカップケーキ」尾張旭市

### 3.2 ヒアリング調査結果

古知野高校が参加したSDGS EXPO 会場では、高校生

の熱心なSDGS ステージ発表会や手作りのバスボム・卵の殻キャンドル作り、環境への関心が高い来場者からの質疑応答が印象的であった。また、南陽高校販売商品コーヒー豆やドレッシング等のフェアトレード関連への取組を、戸田川緑地へ散歩に来られた70歳代のご夫婦が質問されておられたこと、半田商業高校地区の結果においては、開発商品の市場調査を中心とした調査内容結果であったが、ベビーカーを押した若い世代の家族連れのご夫婦(名鉄知多半田駅前に2006年に開業したクラシティ「CLACITY」、愛知県半田市にある再開発ビル、高層階が分譲マンションで併設されて、2016年に1階商業施設が入れ替わり、環境やSDGSに配慮した商品が品揃えされている住環境に暮らしている)の意見の大半が、SDGS 12つくる責任つかう責任を意識され、昆虫食にも関心が高く、重要性を口にされていた。

### 3.3 ライフスタイルの変化

江南市民文化会館SDGS EXPO 会場・農業文化園戸田川緑地春物語り会場・半田市駅前ストリートテラスで見られた、若い世代のライフスタイル、熟年ご夫婦の関心事、特に食生活の変化は、名鉄知多半田駅前クラシティ「CLACITY」半田に並ぶ調味料の素材や食品添加物への拘りに物語られており、次回、地域資源を活用した商品開発は素材そのものの成分分析等を検討する価値はあると考えられる。

### 4. 考察

本研究では、昨年度、筆者が愛知県立緑丘高校の「地域連携講座」に講師として参加し、地域の課題である「東谷山フルーツフラワーパーク」の果樹を使い、商品開発を高校生と一緒に行いましたが、その際には、単に地域の課題である「場所」の地域活性化に終わりました。

今年度は、5か所の地域で、SDGS 12つくる責任つかう責任のテーマを意識して、高校生・大学生共にワークショップを展開して、規格外廃棄商品の活用、あいちの伝統野菜(希少作物)の活用、普段の商業空間から出るごみの活用等を行いました。

特に、持続可能な社会づくりに挑戦する若者を育成するため、エシカル消費の推進や実践を行う高校生が、日頃の取組の成果や今後の展望等について発表する場として「エシカル甲子園」を開催し、消費者市民社会の実現に積極的に参画しようとする気運を高め(2019年 消費者庁)、エシカル甲子園2021年で、徳島県教育委員会教育長受賞の半田商業高校は、伝統野菜の活用と共に、昆虫食コオロギの活用も同時に実施しました。各々開発した商品の販売実践及び市場調査を通じて、販売商品の売上や

開催場所同時開催イベントや販売商品の影響もあり、開催場所が恰も SDGS のステージ＝「場」の創造となっていたと考察される。

今後とも、高校生を中心としての環境教育の広まりは、地域連携講座と言う科目からスタートしたことではあるがこの様な環境に配慮した商品開発・地域連携の仕組みとして検討していきたい。

## 謝辞

本研究にあたり、愛知県立古知野高等学校石黒勝市郎先生、愛知県立南陽高等学校加藤真由美先生、愛知県立半田商業高等学校鈴木庸太先生、名古屋市立若宮商業高等学校鈴木真弓先生、私立聖カピタニオ女子高等学校可児容子先生並びにこなごや農業協同組合地域振興部木村和也副部長には高大連携授業・商品開発にご協力賜り、各市町村・J A各支所・商工会議所・和洋菓子事業所へのアプローチ及び交渉は名古屋産業大学傍嶋ゼミ生にご尽力いただいた。本調査は、名古屋産業大学環境経営研究所の助成金を用いた。ここに感謝申し上げます。

## 参考文献

消費者庁消費者教育推進課ホームページ(2023年2月17日確認)

[https://www.caa.go.jp/public\\_awareness/ethical](https://www.caa.go.jp/public_awareness/ethical)  
愛知県環境局環境政策部環境活動推進課ホームページ  
(2023年2月17日確認)